

Message from a Globalist ②

〔国際理解のプロムナード〕



李 泳澈氏
駐名古屋大韓民国
総領事館領事

名古屋国際を取り巻く皆さん、そして地域の皆さんを対象に国際理解について考え、そして語り合える「国際理解のプロムナード(遊歩道)」を企画実施しました。今回は「国際人として活躍するために」をテーマに駐名古屋大韓民国総領事館領事 李 泳澈氏にお話していただきました。

国際人として活躍するために

現代社会は国際化社会です。日本の経済も外国との関係で支えられています。国際問題はもはや特別な問題ではなく、人類全ての問題です。だから、世界の人が協力合って解決しなければなりません。国際問題の解決に力を注げる国際人になるために、私たちはどうしたらいいでしょうか。

まず、偏見を持たずに、人や物事をありのままに理解して受け入れる能力が必要です。ですから、国際舞台で活躍するための物事を見る枠 (Schema) を豊かにする時期である学生時代はとても重要です。また、外国語、特に英語を習得することも不可欠です。言葉を知らずに人を知ることは不可能です。韓国でも小学校3年生から英語を教えています。高校生になると、日本語、中国語、ドイツ語、フランス語などを、第2外国語として学び始めます。これが今の韓国の教育政策です。外国語ができれば人生をかけて活躍できる場所が広がります。

「3人いると、必ずわが先生がいる」という言葉があります。たくさん本を読んで、いろんな人に出て、その中で様々な物事を学びましょう。それこそ人生を豊かにし、国や人類のために活躍、貢献できる人になるための課題だと思っています。❏

Hot! Information

“Only Oneの新しい音楽”をお届けします。 NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL WIND ORCHESTRA 第4回 定期演奏会

2008年12月28日(日)
12:30開場／13:00開演

私たち吹奏楽部の1年は入学式での演奏に始まりランチタイムコンサート、2学期には学校見学会や私学音楽祭・名古屋吹奏楽フェスティバルへの参加、学校祭と多くの演奏活動をしています。特に夏休み前から練習を始め、12月に向けて猛練習を重ねる定期演奏会が1年の締めくくりとなる大ステージです。特に本年はしらかわホールという立派な会場ですので、場所に見合う演奏ができるよう部員一堂熱のこもった練習を日々続けています。演奏レベルはまだまだNO.1まで至りませんが、“Only Oneの新しい音楽”をお届けできると確信しています。是非聴きにきてください。❏
(中高一貫6年生 部長 曾我部暁子)



▲当日に向け、猛練習に励む吹奏楽部



場所／しらかわホール
入場無料 (下記御招待券をお持ちください)
地下鉄(東山線・鶴舞線)「伏見駅」下車
5番出口を南へ150メートル
指揮／武藤浩司(吹奏楽部顧問)
ゲストソリスト／小森伸二
(名古屋音楽大学講師)
プログラム 組曲「惑星」より
火星・木星(ホルスト)
2つの楽章(ウェニヤン)
West Side Story Medley 他

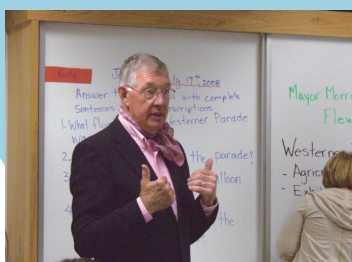
NAGOYA INTERNATIONAL JUNIOR & SENIOR HIGH SCHOOL
WIND ORCHESTRA
第4回 定期演奏会

2008年12月28日(日)
12:30開場／13:00開演
場所／しらかわホール
地下鉄(東山線・鶴舞線)「伏見駅」下車
5番出口を南へ150メートル

御招待券
THE FRONTIER TIMES

② CANADA/Red Deer

Morris市長、直々にレッドディア市の歴史をレクチャー!



▲レクチャーするMorris Flewelling市長

エドモントンから南へ約150kmに位置するレッドディアーは、緑が多く、とても平和な空気が流れる場所です。この場所に17名の生徒が7週間滞在し、語学学習に、アクティビティーにとても充実した日々を過ごしました。午前中は現地の高校でESLの授業を受け、午後からはハイキングやバーベキューなど、カナダならではの自然を活用したアウトドアを存分に楽しみました。また、現地の博物館や公共施設で絵画や陶器を制作し、カナダの文化や歴史を学びました。レッドディアークループは、教室の外での課外活動に力を入れ、アクティビティーが非常に充実したものでしたので、日本では味わえない貴重な経験をすることができました。❏
(中高一貫教員 若宮 崇)



③ NEW ZEALAND/Auckland

海外で日々逞しく成長する生徒達の姿を目前にして。

生徒達の逞しきには感心します。言葉はもちろん生活習慣もかなり異なるホームステイ生活を二度にわたって乗り越えていくわけです。思うように言葉が英語で出なくて不安いっぱいの中、必死に耐えて1週間が過ぎるとやや余裕が出てくるのでしょうか、表情がずいぶん明るくなりました。後はみるみる馴染んでいきます。生徒達が逞しく適応していく様を早速送り映像のごとく見せてもらい、教員としても貴重な経験となりました。❏(高校教員 北原保之)

① CANADA/Edmonton

アルバータ大学ESL英語コースでハイレベルな授業を体験!

アルバータ大学ESL英語コースでの毎日の授業のレベルはとて高く、各国の生徒達とともに机を並べて勉強するということは素晴らしい経験でした。一週目に「早く日本に帰りたい」と言って毎朝泣いていた生徒達も、最後には「まだ帰国したくない」と言うようになりました。異国の地で力強く生き抜くその成長には本当に驚かされました。周りのスタッフの助けがあったおかげでこのコースが成功を収め、終了できるのだということに生徒達も徐々に気づくようになり、英語力とともに人間としても大きく成長できました。この研修が生徒達のこの先の人生に良い影響を与え、導いてくれると信じています。❏(中高一貫教員 平若英恵)



Pick up Feature 3地点からの研修レポート

Thinking about the Future

〔国際生OB OGから現役国際生へ〕

● Message to students ●

自分で選択して進むしかない 大学生活を通して

2006年度卒業生
大阪府立大学 人間社会学部2年生 小出郁美さん



気がつけば高校を卒業してもう1年半も経つ。大学での1年半は本当にあっという間に過ぎた。私は別に勉強ばかりしているわけでもなく、適度に遊んで、バイトもしているまさに典型的な大学生である。この1年半で自分のなかで変わったことを書かせてもらう。

大学で私は演劇という今まで触れてこなかった世界に出会った。演劇部なんてまさか入ると思っていたし、もっと違うサークルに入らなうと思っていた。しかし、いざ入部してみるとすごく楽しい。定期公演を通じてやりがいや達成感を味わうことができたり、部活の仲間で遠くへ出かけてみたりと高校ではなかった経験をさせてもらった。私は演劇部に入ること大切な仲間と経験を手に入れた。

もうひとつ、真面目に勉強の話をしてみる。大学の勉強は座学ばかりで最初正直つまらないなと思っていた。というか大学の授業への期待が大きく裏切られた気分だったのである。しかし大学2年生になり、基礎ゼミが始まってから考えが変わった。ゼミというのは少人数で先生を交え勉強する形式の授

業である。今までの座学のような一方通行の授業ではなく、お互い意見を交換したり、自らプレゼンしたりとやる気をもって取り組めた。ゼミを通じて社会の問題に目を向けるようになり、あまり読まなかった本を読むようになった。自分の中で勉強するということが何かに興味を持ち、自ら調べたりすることだ思うようになった。

大学生活は全うにいけば4年間しかない。この4年をどう過ごすかは自分次第だ。高校みたいに先生に注意されたり指南されたりすることはないのだから自分で選択して進むしかないのだ。私はあと残り2年半充実した生活になるようにしたい。❏



▶大学の演劇部の仲間たちと
(3列目左から2番目)



“I'll make him an offer he can't refuse.”

(俺が話をつけてやろう。嫌とは言わせんさ。)

今回は映画「ゴッドファーザー」の中のセリフです。売れなくなった役者のジョニー (アル・マルティノ) は、もう一度売れるために、映画の役を獲得しようと、ゴッドファーザー (マロン・ブランド) に助けを求めてハリウッドからやってきました。プロデューサーのジャックはジョニーを役につけようとはしませんが、ドン・コルレオーネはジョニーに言います。「俺が話をつけてやる。嫌とは言わせんさ。」

ドンは、問題を解決するためにジャックのもとへ使いを送りますが、ジャックは怒って言います。ジョニーは、俺のお気に入りの新人女優を誘惑してつぶしてしまったので、絶対に彼に役はやらんと。翌朝ジャックが目覚めると、ベッドの中には、60万ドルもする彼の雄馬の首が切り取られて転がっていました。そして、彼は降伏しました。

「ゴッドファーザー」は、アカデミー賞三部門を獲得し、米国映画協会の発表した歴代アメリカ映画で第2位に選ばれた作品です。❏

This line is from the film “The Godfather”. Johnny Fontane (Al Martino) has come from Hollywood to ask the Godfather (Marlon Brando) for help in landing a movie role that will revitalize his flagging career. Jack Woltz, the head of the studio, will not give Fontane the part, but Don Corleone explains to Johnny: “I’ll make him an offer he can’t refuse.” His consigliere is dispatched to California to fix the problem, but Woltz angrily tells him that he will never cast Fontane in the role, because Fontane seduced and “ruined” a starlet that Woltz favored. The next morning, Woltz wakes up to find the bloody severed head of his prize \$600,000 stud horse in the bed with him. Woltz gives in. “The Godfather” won three Academy Awards and is the second best American movie of all time, according to the American Film Institute. ❏

THE FRONTIER TIMES Report 使える英語で話したい!

第1回名古屋国際中学校 フロンティアカップ 開催!

〔小学生英語スピーチコンテスト〕

後援／愛知県教育委員会 名古屋市教育委員会 中日新聞社

新学習指導要領では小学5年生より外国語(英語)の授業が週1回始まります。この時流に対応して、名古屋国際ネイティブファカルティが中心となって、小学生対象のスピーチコンテストを夏休み中に開催しました。小学3年生から小学6年生までの総勢22人がフロンティアカップに参加し、課題の部では「Stop Global Warming(ストップ 地球温暖化)」を、創作の部では参加者の独創的なスピーチが身ぶり手ぶりを加えて行われました。コンテストの運営から審査までがすべて英語でなされるフロンティアカップは、他では味わえない名古屋国際のオリジナル企画となりました。そして、見事に栄冠のフロンティアカップアワードを手に入れたのは中條貴之君(春日井市立山王小学校 4年生)です。Congratulations!❏



◀クリスタルプレートを手
にジョージ校長と記念撮影する
中條貴之君。これからは英語力
のブラッシュアップを応援します。



来

～(くり離して演奏会当日にご持参ください)～